# 6.　立ち会い分娩をされるご主人（またはご家族の方）へ

産婦さんの苦痛と不安の軽減の為に、ご主人の立ち会い分娩を行っています。
また、ご主人が立ち会いされない場合は、高校生以上の方であれば 1 名に限り家族の方が立ち会いをする事が出来ます。

産婦さんが入院され、ＬＤＲにいる間はご主人(ご家族)も一緒に過ごすことが出来ます。
分娩の進行状態により産婦さんに睡眠をとっていただく事を優先する場合は、一時帰宅や宿泊施設などで待機して頂く事があります。（院内には待機して頂く場所がありませんのでご了承ください）

産婦さんは、身体的にも精神的にも大きな負担を抱え頑張っています。
こんな時こそ、さぁ・・ご主人の出番です。

## 付き添ったご主人は何をして頂いたらよいのでしょうか？

★まず、ご主人が冷静になり、出来るだけ落ち着かせてあげましょう。
　陣痛がきていない時はリラックスが大切です。
　たわいもないおしゃべりや優しい声かけ、緊張して力が入っている所を優しくなでて緊張をほぐしてあげましょう。
★腰の痛みを強く感じる方が多いです。ご主人の愛情のこもった手で、腰をマッサージしたり、指圧の様に強く押してあげると痛みに効果的です。
★陣痛の時、正しいリズムで呼吸が続けられるように、リードしてあげましょう。
　出来るだけゆったりと深くフーフーと息を吐くように一緒に呼吸をしてあげて下さい。
★痛みゆえに、怒りっぽくなることがあります。
　そんなときには温かく受け止めてあげて下さい。
★奥さまが楽だと感じることなら極力何でもしてあげて下さい。
　冷たいタオルで汗を拭く、水分補給、うちわであおいであげる・・・等
★赤ちゃんが生まれた後に、奥さまの胸元や保温台の上にいる赤ちゃんの写真撮影をしても構いません。
　ご主人の出来る事を精一杯すること、それは父親としての初めての仕事でもあります。

## 病棟からのお願いです

赤ちゃんと対面した後は、傷の縫合や診察がありますので
廊下でお待ちいただく場合があります。
感染症流行期は状況によって立ち会い分娩をお断りさせていただくことがあります。